

大久野島ビジターセンター便り

Vol.82 (R1.8.31)

風が少しずつひんやりとしてきて、秋の訪れを感じてきますね。島のキャンプ場の芝生では、コオロギの鳴き声も聞こえ始めています。

夏休み中にはにぎやかだった島ですが、8月末になるにつれて少しずつ元の穏やかな雰囲気に戻ってきています。暑さからも少しずつ解放されて、夏バテ気味のウサギたちもゆったりと過ごしている日が多くなり、まったりと寝そべっている様子に癒されています。

今回は、夏の大久野島の様子をみなさんにご紹介いたします。

大久野島の夏



【台風後の島の様子(2019.8.16)】

- ・アメリカスズカケノキの大きな枝がたくさん落ちていました。
- ・新鮮な葉がたくさん落ちてきていたので、ウサギたちはたくさん葉っぱを食べてまったりとしてました。



【クサギの花(2019.8.31)】

- ・葉や枝を傷つけると、嫌な臭い(=臭木くさきが名前の由来)がしますが、花は良い香りがします。
- ・ウサギたちがあまり食べないので、島に多く生育する植物の一種です。



【リンゴツバキさくかの蒴果(2019.8.31)】

- ・名前はリンゴとついでいますが、実はかたくて食べることはできません。
- ・中には種が入っています。ビジターセンターでは、種が落ちた後、このかたい蒴果で飾りを作っています。



【マテバシイけんかの堅果(2019.8.31)】

- ・今年にはたくさんのどんぐり(=堅果)が実っています。
- ・島のアナウサギたちは、どんぐりが大好きで器用に表面のかたい皮を歯で剥きながら食べています。ウサギたちの食べている様子も観察してみてくださいね！

実施報告

夏休み期間中に、特別クラフト体験「チリモンを探そう！」を実施致しました。瀬戸内海の自然について学び関心を持っていただくイベントとしてみなさんに体験していただき、チャーム型の標本を作製しました。暑い中、17組 36名のご参加をいただきました。ありがとうございました！

●チリモンを探そう！

(実施日 7/27, 28 8/3, 4, 24, 25)

- ・チリモンとは、チリメンジャコの中にまざっている小さな生き物たち(=チリメンモンスター)のことです。
- ・ピンセットや虫眼鏡を使い、たくさんのチリメンジャコの中からお気に入りのチリモンを見つけました。
- ・お気に入りのチリモンは、レジン液の中に入れて、UVライトで固めてチャーム型の標本にしました。




記念写真





特別クラフト体験は、毎年夏に実施しているよ！興味のあるかたは、電話で問い合わせしてね！



大久野島ビジターセンター便り vol.82 R1.8.31 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場